※令和４年度以降入学生用

学校番号	2003

令和８年度　音楽科

教科	音楽	科目	音楽史	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽的な見方・考え方を働かせながら音楽について学びます。グループワークやペアワークを通じて、お互いが作品や演奏についてどう感じたかをアウトプットする力を高めます。

2　学習の到達目標

学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次の通り育成することを目指す。
⑴我が国及び諸外国の音楽について理解することができるようになる。
⑵多様な音楽の文化的価値について考えることができるようにする。
⑶音楽に関する伝統と文化を尊重する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解する。	音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特性、変化などを感じ取り、自己のイメージする表現内容に合わせて創意工夫する能力、音楽作品などを鑑賞し、曲想を感じ取りながら喚起された自己のイメージや感情を、音楽の構造や文化的背景などと関わらせて評価しながら自ら味わう能力を向上させている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	舞台作品鑑賞	任意の作品について鑑賞する。	a: 曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解する。 b: 音や音楽のもつ要素を知覚し、そのよさや特性、変化、曲想などを感じ取りながら喚起された自己のイメージや感情を言葉で表現することができる。 c: 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察
	日本作品鑑賞	任意の作品について鑑賞する。	a: 曲想や音楽の構造、音楽の多様性について理解する。 b:音楽の構造や文化的背景などと関わらせて評価しながら自ら味わう能力を向上させている。 c: 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しもうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度